

育てよう

鏡野のよい子シリーズ



「ゲームを通したルールづくり」

皆さんは、自分が子どもの頃にしていた遊びを考えたとき、一番に何がいっつきますか。私は、友だちと近くの田んぼで水遊びや泥遊びをしたりもしましたが、やはり一番は、ゲームをしたことです。小学校に入学した頃から、毎日のようにしていたことを思い出します。今でこそゲームをすることは少なくなりまして、子ども頃の自分にとって、それがとても魅力的なものであったことは、間違いありません。

今、学校で子どもたちの話を聞くと、傾けると、よくゲームの話が聞こえてきます。子どもたちはみんな、ネットワーク通信で繋がりが、ゲームをしているようです。私が子どもの頃は友だちの家に行き、互いのゲーム機を通信ケーブルでつないでいたものでした。会わなくても友だちとゲームができるというのが今の「当たり前前」になっているのだと思います。ゲームは楽しいものですが「やりすぎ」という問題に直面します。保護者の方も、ゲームがやめられないことを問題だと感じられている方も

多くおられます。

子どもにとって、ゲームの時間を自分で調節するのはとても難しいことです。私も例外ではありませんでした。ゲームのし過ぎを防ぐためには、ルールを設けなければなりません。

私の家にもルールがありました。それは、「必ず宿題をしてからすること」と「食事、風呂、寝る時間は守ること」の二つでした。守れなくて厳しく叱られたこともありましたが、たった二つのルールだったので、守ることができたのだと考えています。

大切なのは、守ることができるとルールを作ることだと思います。そのルールは、ぜひお子さんと一緒に考えてください。親からの押しつけになってしまうと、子どもは守ることができなくなりません。そして、ルールを守ってゲームができているときは、楽しくさせてあげてほしいと思います。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

香々美小学校

森藤

拓海

のびのびひろば

いいにおい!!
パチパチ音もするよ。



おにを退治できますように...



紙袋で作ったおに

子どもたちが追いかけていたおにを作ったよ



どしんどしん!! おにだぞー!

～おにはそと～ふくはうち～



2月3日 節分の日には豆まきをしました。節分を前に子どもたちは鬼のお面や衣装を制作し、準備万端。「泣き虫鬼をやっつけるぞ!!」「いじわる鬼も!!」「心の鬼もやっつけよう」「僕らが保育園のみんなを守ってあげよう」と大きいクラス子どもたちは張り切っていました。

さあ、いよいよ節分当日。「みんなでがんばって鬼を退治するぞ」と張り切っていた子どもたち。鬼が登場するとびっくりして怖がっていた子どもたちもいましたが、「おにはそと」とカいっぱい豆を投げて心のおにを追い払うことができました。追いかけた後、子どもたちはとてもすがすがしい表情をしていました。

節分が終わるといよいよ春です。「もう春がくるね」とまた一つ大きくなることを楽しみにしている子どもたちでした。



みんなで『おにのパンツ』を踊って、元気を出すぞ!!



「おには～そと。」
「ふくは～うち。」
勇気を出して
豆まきをしました。



今年一年 元気に過ごせますように...
(奥津保育園)